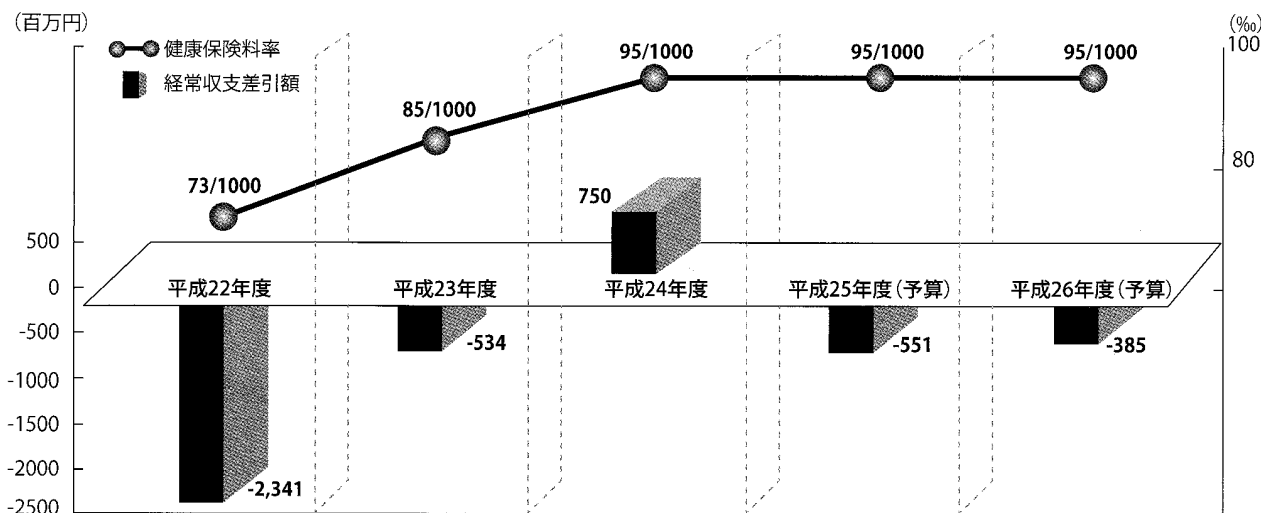


図 健康保険料率と経常収支差引額の推移



収入

被保険者数等の減少により
保険料は減収

26年度予算を算出するにあたり、被保険者数は、事業所の他組合への異動による減少から前年度予算比500人減の3万1000人、平均標準報酬月額徐徐に回復しており、同比2074円増の37万4000円とし、保険料率は95%に据置きとしています。これにより、組合財政の基盤となる保険料収入は、前年度予算比3億1400万円減となったことから、別途積立金から6億円を繰入れ、総額171億8400万円の予算としています。

支出

保険給付費と納付金で
保険料の94%

26年度の医療費は、診療報酬改定により0.1%の引上げとなりました。医療費等を主とする保険給付費は、自然増を加味しても、被保険者数の減少により前年度予算比1500万円減の82億8200万円、高齢者医療制度への納付金等は同比2億900万円減の68億9500万円

円となりました。減少したとはいえ、保険料収入も減少している状況にあり、保険給付費、納付金等の合計が保険料収入に占める割合は、前年と同水準の94%となっています。

また、健診などの健康づくり事業を行う保健事業費については、前年に引続き充実を図るとともに効率化を進め、6億9200万円の予算としました。

収支

経常収支では
3億8500万円の赤字

26年度は、経常収入合計162億3400万円、経常支出合計166億1900万円で、差引き3億8500万円の赤字予算となっています。健康保険料率の引上げを行った23年度、24年度以降、別途積立金等の繰入れにより保険料率を据置きとしています。

*介護保険については4ページを参照ください。
*保健事業については5、6ページを参照ください。

